

答

平成21年度予算編成にあたっては、緊急雇用・経済対策に重点的に取り組み一方で、財政健全化の取組みとして、職員数の計画的な削減など人件費の抑制や事務事業の徹底的な見直しを行っています。



今後とも、予期し得ない情勢の変化に対応し、県民への真に必要な行政サービスを間断なく提供できるように、より一層「選択と集中」を図り、必要な財源を確保していきたいと考えています。

その他の質問事項
○経済雇用対策 ほか

三重県の医療政策

末松 則子議員
(県政みらい／鈴鹿市選出)

問

現在の県立病院は、医師不足などにより機能が十分に果たせなくなっており、また毎年一般会計繰り入れが

40億円を超えているなど、存続すら危惧される厳しい状況にあります。

「県立病院改革に関する考え方(基本方針)案」では、病院機能の廃止が目的ではなく、運営体制を再構築し、健全な経営を継続することが前提ですが、一部病院の間譲渡なども示されています。知事の県立病院改革への決意をお聞かせください。

答

県立病院改革は、病院機能を持向上させ、県民に良質で満足度の高い医療を安定的、継続的に提供することをめざしており、この改革は避けては通れない喫緊の課題です。



今後、改革の基本理念や各病院の方向性を、県民や関係者に十分説明を行い、できるだけ速やかに基本方針として決定し、着実に実行していきたいと強く思っています。

その他の質問事項
○緊急に取り組む雇用・経済対策 ほか

一般質問

平成21年度県予算と景気対策

森本 繁史議員
(県政みらい／熊野市・南牟婁郡選出)

問

県内においても経済の状況は厳しく、税収の落ち込みなどにより、厳しい財政運営が迫られています。そのような中で、平成21年度予算では、経済・生活・文化力の3つを柱にしています。

この時代に、文化関係の予算に取組む余裕があるのででしょうか。景気対策を優先し、文化関係の予算については、後年度に回してはいかがですか。

答

21年度は文化力を象徴する事業として、「美し国おこし・三重」を本格的にスタートさせ、地域の皆さんが実践する地域づくりを新たな経済活動創出にもつなげていきたいと考えています。



「美し国おこし・三重」シンボルマーク

本年を「文化力立県元年」と位置付け、今回の経済危機にも対峙しながら、心豊かに暮らせる地域社会づくりに一層取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問事項
○過疎対策 ほか

地産地消と教育について

長田 隆尚議員
(新政みえ／亀山市選出)

問

教育では子どもたちの「知りたい」という内から湧き出る想いが、学ぶことの楽しさや学力の向上につながると考えます。

昨今、学校給食への地域食材の導入を通じた食育が推進されており、農業政策、食育の観点からの地産地消も大切ですが、「知りたい」という想いからの地産地消も必要です。食育の推進についての考え方を伺います。



松阪牛牧場でエサやり体験

答

生産者の顔が見える地場の産物の使用は、子どもたちの興味や学習意欲を高めるために効果的であり、地域の自然や文化などに関する理解を深め、食への感謝の念を育むうえで重要です。

平成21年度には、「みえ地物一番給食の日」を設定し、地場産物を使用した給食や、食育の実施を進めていきます。

その他の質問事項
○三重県内の道路網の整備 ほか